

# エイミー・ウェント先生の 理系学生のための エンカレッジ教室 Part2



## 活躍の場は世界にある?! 研究者・技術者としてのキャリアパスを 考えてみよう!

エイミー・ウェント先生は、ウイスコンシン大学マディソン校「女性科学・技術リーダーシップ機構(WISELI)」のディレクター・工学科教授として、学内外の男女共同参画(ジェンダー平等)、ダイバーシティの推進のために活躍しています。キャリア開発に重要なダイバーシティの視点とは? アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)とは?

エイミー・ウェント先生とのダイアログ(対話)を通して、今後の研究者・技術者としてのキャリアパスを今一度考えてみませんか。英語での講演になりますが、日本語での解説も行います。

平成31年夏にウイスコンシン大学マディソン校への学生の短期派遣がスタートします。プログラム概要について、鍋島美奈子・工学研究科准教授が説明します。



日時

平成31年1月18日(金)  
11時~12時

場所

大阪市立大学杉本キャンパス  
工学部G棟2階 G201教室

対象

連携機関所属の理系学生、教職員等

申込み  
方法

お電話またはEmailで  
「氏名」「所属」をお知らせください。(当日参加可)

申込み  
問合せ先

大阪市立大学 女性研究者支援室  
TEL:06-6605-3661  
Email:ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

参加費  
無料



講師 エイミー・ウェント

ウイスコンシン大学マディソン校WISELI  
ディレクター、電気・コンピュータ工学科教授

1988年、カリフォルニア大学バークレー校大学院にて電気工学の博士号を取得。現在、工業分野で普及している材料加工におけるイオン化気体の使用技法について、その際のプラズマの作用の解明のための研究を行っている。

女性科学・技術リーダーシップ機構(WISELI)

ウイスコンシン大学マディソン校の研究センターの一つであり、2002年に設立した。女性研究員や過小評価されたグループの人々の評価、進出、満足度を向上させることを使命とし、大学をジェンダー平等、多様性、風土の「生きた実験の場」として捉え、客観的な研究データに基づく解決策の実践や成果の評価を行っている。

◆文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の一環として実施します。

主催:大阪市立大学(工学研究科、女性研究者支援室) 共催:大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社